

地域ワークショップ in 愛媛

- 内 容
- 第1部オリパラ教育の事例報告
- 西条市立 橘 小学校
 - 宇和島市立和霊小学校
 - 今治市立北郷中学校

- 第2部パネルディスカッション
- コーディネーター: 宮崎 明世さん
 - パネリスト: 田口 信教さん
 - 神川 明彦さん
 - 土佐 礼子さん



県内のオリンピック・パラリンピック教育推進校で実施した内容を共有して、来年度以降のオリパラ教育につなげるため、推進校3校から事例発表をしたんよ。また、「愛媛県のオリパラ教育の推進について」というテーマでパネルディスカッションをして、オリパラ教育はもちろん、パラスポーツへの関心やスポーツへの興味を持たせ方など、いろんな意見を聴くことができたけん。



オリパラ教育には、オリンピック・パラリンピアンの人もたくさん来てくれて、みんなにいろんなお話をしてくれたけん! アスリートの競技を目の前で見てもらったお友達もいたし、一緒に走ったり、跳んだり、競技用の車いすに乗せてもらったりもして、普段経験できないことをしたんよ。事前に先生から授業をもらったから、オリンピックやパラリンピックについてよくわかったけん!

講演に来てくれたアスリートのメッセージを一部紹介するダーク。

- 高平慎士さん「日々の中から成長のチャンスを見つける」
- 矢野繁樹さん「障がいとは人と人の中にあるもの」
- 鈴木徹さん「夢中になれるものに取り組む」
- マーラ・ヤマウチさん「失敗しても良い、失敗を次につなげること」
- 井村久美子さん「よかったこと、悪かったことをノートに書く」
- 井上聡さん「障がいがあるけどもスポーツはできるし楽しめる」など



オリンピック・パラリンピックを通じて、日本の伝統や外国(地域)の文化、おもてなしの心やお互いの個性を認め合う気持ちなど、いろんなことを学んでいこう!

製作: 愛媛県スポーツ・文化局スポーツ課
TEL: 089-947-5470

オリンピック・パラリンピック 教育 ってなあに?



2020年7月24日(金)～8月9日(日)に東京オリンピック、8月25日(火)～9月6日(日)に東京パラリンピックが開催されるけん! みんなで大会を盛り上げよう!



コミーも一緒に盛り上げるきゃん!

東京オリンピック・パラリンピックなんて、東京に住んでいる人たちだけ盛り上がったらいいダーク! 愛媛にいるオレ様には関係ないダーク!



確かに、愛媛県で競技は行われないけど...
オリンピックといったら聖火リレー! その聖火リレーが愛媛県に来るんよ!



聖火リレーは2020年4月22日(水)と23日(木)!
見に行きたいきゃん!



オリンピックやパラリンピックの前には、マレーシアや台湾、オーストラリア、サウジアラビア、パナマといった海外の選手が、愛媛に練習しに来るんよ! みんなの学校にも、海外の選手が来てくれるかも? 愛媛に来てくれた選手が頑張れるように、みんなで応援しよう! そしてもう一つ! 愛媛県では県内の学校で「オリンピック・パラリンピック教育」をやってるんよ!

「オリンピック・パラリンピック教育」ってなんダーク?



勝ち負けや金メダルの数だけでなく、オリンピック・パラリンピックが目指すもの(理念)や、実際に活躍した人たちから、諦めない心やスポーツの楽しさを学んだり、パラスポーツを体験したり、みんなの心の成長を目的とした教育なんよ!



みんなのお友達も、今年こんなことをして学んだきゃん!

中を見てみよう!



「オリンピック・パラリンピック教育（オリパラ教育）」の実践例



宇和島市立和霊小学校

- 参加者：4・5・6年生（約200人）
- 講師：鈴木 徹さん（パラリンピアン：陸上・走り高跳び・義足）
- 内容：DVDを見てオリンピック・パラリンピックに関するクイズをしながら、学んだ。また、自分の課題を決めてインターネット



で調べたものを新聞にしたり、「ゴールボール」の体験も行った。講師の鈴木さんからは、困難を抱えながらも夢中になれるものを見つけ、諦めることなく続けてきたお話と、一緒に体を動かして、スポーツの楽しさを体験した。



今治市立北郷中学校

- 参加者：2年生、3年生（約150人）
- 講師：矢野 繁樹さん（パラリンピアン：陸上・視覚障害）
瀧本 啓太さん（伴走者）
- 内容：新しい障がい者スポーツを作ること目標として、みんな



が暮らしやすい社会について考えた。ポッチャやシッティングバレーをして、みんなが公平にプレイできるような新しいルールを考えたい。講演では、矢野さんから、目が見えない状況での移動や、障がいに対する考え方を勉強した。また、実際にアイシェードをつけて、伴走者の瀧本さんと一緒に走ってもらった。



西条市立橘小学校

- 参加者：全校児童（約100人）
- 講師：井村 久美子さん（オリンピック：陸上・走り幅跳び）
- 内容：井村さんについて事前に調べたり、女子走り幅跳びの日本記録（6m86cm）を教室で測ってみた。井村さんには、記録を取るための大切さを教えてもらいながら、一緒に走り幅跳びやハードル走をしたり、給食も一緒に食べたりして交流した。ほかにもオリンピックの歴史、理念などを調べ、西条市出身のオリンピック、田口信教さんについても学んだ。



上島町立岩城中学校

- 参加者：全校生徒（約40人）
- 講師：井上 聡さん（パラリンピアン：陸上・車いす）
- 内容：事前学習として、パラリンピックについて全校生徒で学んで、パラリンピックの大切さなどについて考え、気付くことが



できた。講師の井上さんからは、障がいに応じた競技用具の紹介、体の動かし方など、パラリンピックをより楽しく観戦するための知識をお話してもらった。実際の競技用車いすにも乗せてもらって、いい経験になった。



松山市立椿中学校

- 参加者：1年生（約150人）
- 講師：マーラ・ヤマウチさん（オリンピック：陸上・マラソン）
- 内容：オリンピックの歴史や2年後に開催される東京オリンピックについて学習した。マーラさんからは、自身の経験や、オリンピックでの失敗談、誰でも努力次第でオリンピックになれる可能性があるということをお話してもらった。一緒にストレッチやランニングもした。マーラさんが愛媛マラソンのゲストラナーとして出場することもあって、地元のスポーツイベントに興味を持つきっかけにもなった。



今治特別支援学校

- 参加者：フットベースボール部、陸上競技部、教員（約40人）、近隣の中学校生徒（約20人）
- 内容：パラスポーツに対する理解を深めることを目的として地域の学校の生徒とのフットベースボールを通じた交流で、お互いの理解を深めた。フットベースボール部が練習に取り入れているリズムトレーニングを行いしっかりと体を動かした後、



参加者を4チームに分け、試合形式でフットベースボールを行った。参加者全員が経験や体力差にかかわらず活動を楽しめた。

